駿府城公園周辺ウォーク

2023.12.10　7.5km

コース

往　路　富士宮駅南口＝＝富士駅＝＝＝静岡駅
8:20(8:39 発)　8:54～9:03　9:38～45

ウォーク　静岡駅(スタート)・・・浮月楼・・・駿府城公園(WC/体操)・・・天守台発掘現場・・・
9:45　10:20～40　10:45～55
静岡浅間神社(大歳御祖神社を含む)(WC)・・・臨済寺・・・・・・城北公園(昼食・WC)
11:20～40　11:55～12:05　12:20～13:10
・・・紅葉山庭園外周遊歩道・・・静岡駅(ゴール・WC)
13:40　14:15～33

復　路　静岡駅＝＝富士駅＝＝富士宮駅
(標準)　14:33　15:08～11　15:29
(早いケース)14:13　14:48～53　15:11
(遅いケース)14:51　15:25～39　15:57

参加者の皆様へ

- 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切る場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

行事参加中のコロナ対策

・電車内ではマスクを着用し、大声での会話は控えてください。
・電車内での菓子等の喫食は控えてください。
・ウォーク中のマスク着用は個人判断とします。

コースの概要

静岡駅をスタート、駅近くにある**15代将軍・徳川慶喜**の屋敷跡の**浮月楼**をちょっとのぞき見し、**駿府城公園**に向かいます。公園入口に近い児童広場でトイレ、コース説明、体操を済ませてウォーク開始。**清水御門**近くの**天守台跡発掘調査場所**を見学します。**西門橋**を出て左折、**浅間通り**を**静岡浅間神社**に向かいます。**浅間神社**には三社があり、まずは**大歳御祖(おおとしみおや)神社**に寄り、トイレ休憩の後、**浅間(あさま)神社**を見学します。その後20分ほど歩いて**臨済寺**に行きます。**今川家**の菩提寺であり、**竹千代時代の家康**が人質として預けられた寺です。昼食場所の**城北公園**は静岡大学があった場所で、日本の都市公園100選に選ばれた立派な公園です。トイレも3か所あります。午後は再び**駿府城公園**に向かいます。**紅葉山庭園**の外周の遊歩道を歩きます。庭園は有料のため塀で囲われていて覗き見ることはできません、悪しからず。平成8年に復元された**東御門**から公園を出て右手に平成元年に復元された**巽櫓(たつみやぐら)**を見ながら**静岡駅**方面に向かいます。松坂屋前で地下道に入り、駅手前の広い場所で点呼して解散になります。コース行程表に到着予定時間前後の時刻表を書いてありますので各自乗車してください。以降点呼等は行いませんので各自帰宅願います。

浮月楼

第15代将軍・徳川慶喜が大政奉還の後、1869年(明治2年)から1888年(明治21年)まで居住していた屋敷跡としても知られる。もともとの敷地は、4500坪以上あり、区画整理で周辺を削られているが、現在でもおおむね2000坪を超える。慶喜は、1888年の東海道線開通時に都会の喧騒を嫌い、静岡の西草深の邸宅(後の葵ホテル・旧エンバーソン邸・静岡教会)へと転居した。その後、この屋敷跡は、1891年に料亭・浮月亭として開業した。現在は、名を浮月楼とし、料亭・結婚式場・催事場として主に利用されている。

駿府城公園

駿府城の城郭のうち、中堀の内側の旧本丸と二の丸を整備して作られた有料(各広場、発掘情報館きゃっしるは無料)の公園である。公園内には、明治時代に陸軍を誘致した際に埋められた内堀が一部発掘されている。また、富士見広場は公園内で唯一富士山が望める地点であり、その南西角に坤櫓(ひつじさるやぐら)が復元された。他にも、巽櫓(たつみやぐら)や東御門なども復元され、資料館なども設置されている。さらに、徳川家康の像や、家康が植えたと伝えられているミカンなどもある。

静岡浅間神社

登記上の宗教法人名称は神部神社・淺間神社・大歳御祖神社で、「静岡浅間神社」は総称。三社はいずれも独立の神社として祭祀が行われている。
神部神社(かんべじんじゃ)
祭神:大己貴命 (おおなむちのみこと)
浅間神社(あさまじんじゃ)
祭神:木之花咲耶姫命 (このはなのさくやひめのみこと)
大歳御祖神社 (おおとしみおやじんじゃ)
祭神:大歳御祖命(おおとしみおやのみこと)

臨済寺 (りんざいじ)

臨済宗妙心寺派の禅寺。山号は大龍山、同派の専門道場である。駿河の戦国大名・今川家の菩提寺で、今川館(現在の駿府城)の北西に当たる賤機山(しずはたやま)の麓に位置する。なお賤機山山頂には今川家の詰城である賤機山城があった。
永禄11年(1568年)、今川氏・北条氏との甲相駿三国同盟が手切となり武田信玄による駿河侵攻が開始され、駿府城下に火が懸けられたため、臨済寺の堂宇も灰燼に帰した。しかし、天正10年(1582年)の武田氏滅亡後に駿河を領有した徳川家康が正親町天皇の勅命によって復興・整備を進め、現在も残る本堂が再建されるなど盛時の姿を取り戻した。当寺は、今川氏人質時代の家康(松平竹千代)が教育を受けたところとしても知られており、駿府が徳川幕府直轄地となった江戸期を通じて徳川氏の手厚い庇護を受けた。

次回申込 (富士宮駅・受付で)
総会ウォーク
(富士緑道と上堀散策路)
☆期 日　1月21日(日)
☆集 合　富士宮駅南口 8:00
☆参加費　1,000円
JR運賃自己負担の場合:500円
☆〆 切　1月15日(月)

緊急時連絡
増田　敏幸　080-2612-4825
高戸　栄行　090-8135-3306